



て お ぎ じゅつ つむ わた
手織りの技術を今に紡ぎ、後世に渡す。

早島町役場にほど近い花ござ手織り伝承館は、早島町を代表する産業の一つだった花ござを生産していた手織機が機械化によってだんだんなくなり、手織りの技術が消えてしまうという危機感から1984年に「花ござ手織り教室」としてスタートしました。

手織り技術の保存と継承を図るため、現在は9名のボランティアにより毎週火曜日と金曜日の午後1時半から3時半に活動しています。

明治や大正時代に製作された全国的にも貴重な手織機を使つての実演・講座と事前に予約が必要ですが、ミニ手織機を使った製作体験も行っています。

◆ 施設のおすすめ

カタンカタンと音を響かせて花ござを織る様子は、明治から昭和にかけて早島町のいろいろなところで聞くことができました。

1970年代の後半に、織機の機械化が進んだことで使わなくなり納屋で眠っていた明治・大正時代の手織機を業者から譲り受け、ボランティアにより整備や補修が行われました。

実際に動いている様子を間近で見ることができるのは全国でもここだけです。

また、ミニ手織機を使った製作体験も行っています。(作品の持ち帰りをご希望の場合のみ500円が必要です。)

◆ 子どもたちへのメッセージ

早島町で花ござをどういう風に作っていたのか、実際にやってみることで見るだけでは分からない貴重な体験をすることができます。

早島町で開催される「花ござまつり」や「生涯学習まつり」などの際には、織りの体験ができる場を用意していますので、興味がある方はぜひお越しください。



て お り き ふくろ お り か え ん よ う
手織機 袋織花庭用



おさ
箆



ち きり
干切



たい けん かい
体験会の様子



たい しょう せい ぞう おお が た お り き
大正14年製造大型織機



し ぎ そ て い ち ぶ さ ぎ ょ う
色素定着作業



たい けん かい せい か ぶ つ
体験会成果物